

令和7年4月 急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランス

宇都宮市の ARI サーベイランスについて

本市では、市内 12 か所の定点医療機関から ARI と診断された患者の数を毎週、御報告いただいています。これによって、宇都宮市における ARI の流行状況を把握することができます。

また、患者数の報告を行う定点医療機関の中で、病原体分離のために検体採取を行う医療機関（病原体定点）が、市内に 2 か所定められており、採取した検体は宇都宮市衛生環境試験所にて、以下の呼吸器ウイルスの遺伝子検査を行っています。

検査対象病原体：インフルエンザウイルス A/B、新型コロナウイルス、
RS ウイルス A/B、ヒトパラインフルエンザウイルス 1~4、
ヒトメタニューモウイルス、
ライノウイルス/エンテロウイルス、
アデノウイルス

患者発生状況および病原体検出状況

【患者発生状況】

宇都宮市内において、ARI サーベイランスが開始された 2025 年第 15 週（4 月 7 日～4 月 13 日）における定点当たり報告数は 58.92（報告数 707 例）でした。翌週の第 16 週（4 月 14 日～4 月 20 日）には 69.58（報告数 835 例）と増加したものの（前週比 1.18）、第 17 週（4 月 21 日～4 月 27 日）には 70.17（報告数 842 例）と前週に比較して横ばいとなりました（図 1）。

【病原体検出状況】

2025 年 4 月期（第 15-17 週）は、31 検体が採取され、陽性症例数は 18 件で陽性率は 58.1%でした。検出された病原体の内訳を見ると、ライノウイルス又はエンテロウイルスが最も多い 6 件で次にヒトメタニューモウイルスが 4 件、インフルエンザウイルス A 型、新型コロナウイルス及びヒトパラインフルエンザウイルスが 3 件と続いています（表 1）。

図 1 : ARI 定点当たり報告数および病原体検出状況

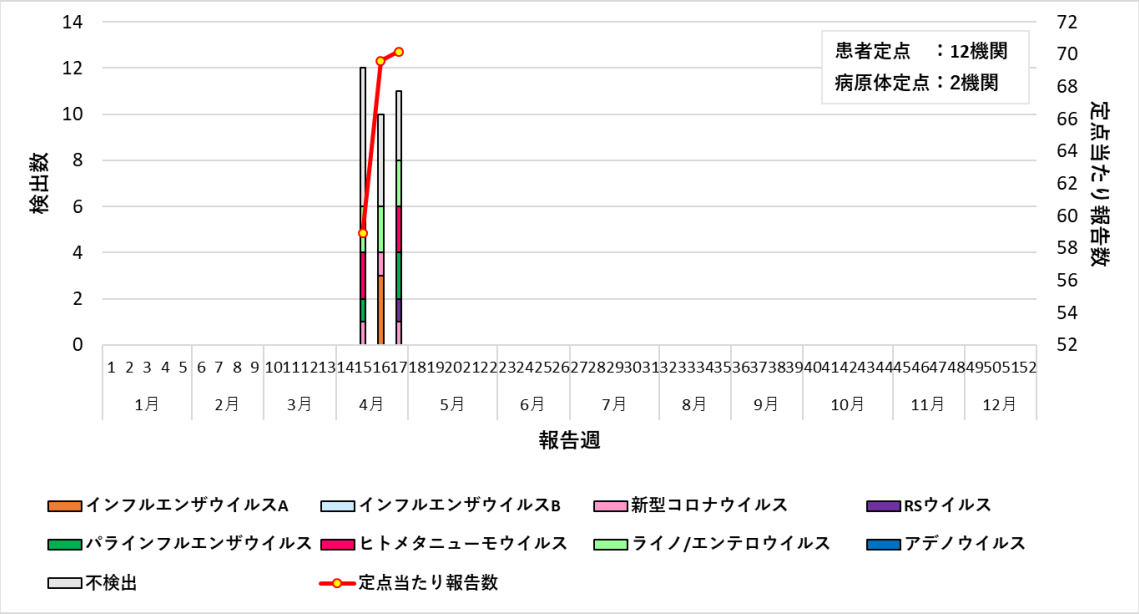


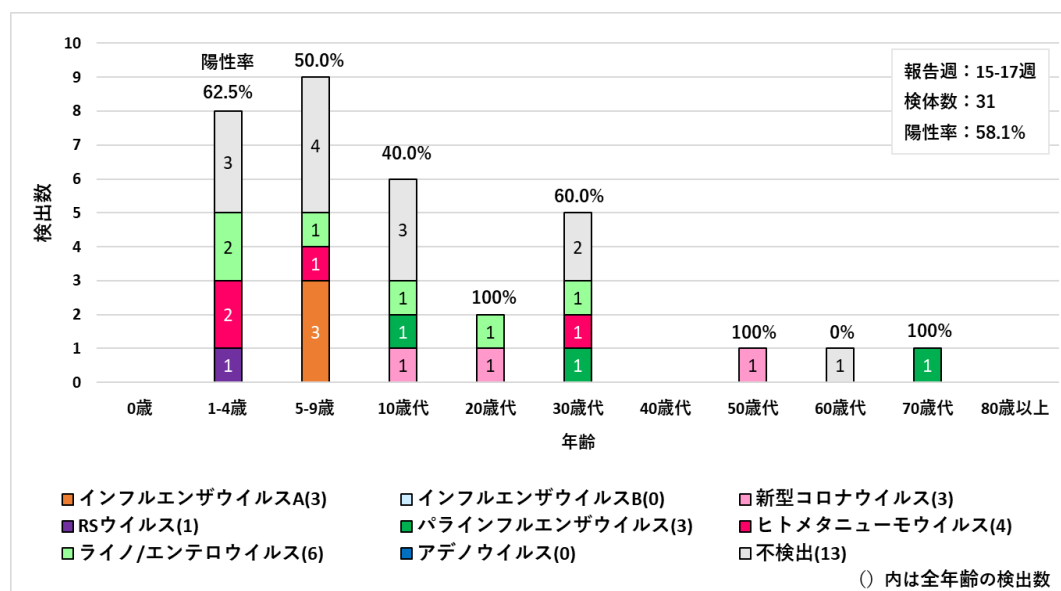
表 1 : 月別 ARI 病原体検出状況

		4月
		15-17週
検体数		31
不検出数		13
陽性率		58.1%
インフルエンザウイルスA		3
	A/H1pdm09	0
	A/H3	3
インフルエンザウイルスB		0
	B/山形系統	0
新型コロナウイルス		3
RSウイルス		1
	A型	1
	B型	0
ヒトパラインフルエンザウイルス		3
	1型	1
	2型	0
	3型	2
	4型	0
ヒトメタニューモウイルス		4
ライノ/エンテロウイルス		6
アデノウイルス		0
検出数合計 (同一検体からの複数検出含む)		24

年齢別病原体検出状況

2025 年 4 月期（第 15-17 週）に採取された 31 検体の内訳を見ると、10 歳未満の子どもが最も多い 16 検体で次に 10 歳代と 30 歳代が 5 検体と続いています。最も多く検出された病原体は、ライノウイルス又はエンテロウイルスの 6 件で、10 歳代未満、20 歳代、30 歳代と幅広い年代で検出されています（図 2）。

図 2：年齢別 ARI 病原体検出状況（2025 年 4 月期）



※ 1 つの検体から複数の病原体が検出される場合もあります